

ASEAN諸国留学生奨学金 令和7年度事業報告書





令和7年度は、ASEAN奨学生の日本企業に対する理解をこれまで以上に深めるため、ご寄付をいただいている東急株式会社及びグループ企業の説明会を開催しました。

また、ASEAN諸国奨学生交流会では、日頃より奨学生のキャリア支援にご協力いただいている企業の紹介パネルの展示や、インターンシップ参加学生による成果報告プレゼンテーションなど、さまざまな取り組みを行いました。

本報告書では、令和7年度の事業内容、奨学生採用状況等をご報告するとともに、令和8年3月に卒業した第6期生からのメッセージを掲載いたします。

1. 奨学生募集活動・選考試験／その他

①対象国：インドネシア／カンボジア／タイ／ベトナム／フィリピン
マレーシア／ミャンマー／ラオス

②募集活動・選考試験

◆第1期（3月募集）出願期間：令和7年3月1日（土）～15日（土）

最終合格発表：令和7年4月25日（金）

合格者数：6名（ベトナム3名／フィリピン2名／インドネシア1名）

◆第2期（9月募集）出願期間：令和7年9月1日（月）～10月3日（金）

最終合格発表：令和7年11月14日（月）

合格者数：7名（タイ4名／ミャンマー1名／フィリピン1名／インドネシア1名）

合格者合計：13名

（ベトナム3名／フィリピン3名／ミャンマー1名／タイ4名／インドネシア2名）

2. ASEAN奨学生としての活動

①「ジャパン・スタディーズⅠ」夏期インターンシップ

ASEAN奨学生が受講するキャリア教育科目「ジャパン・スタディーズⅠ」では、本学のキャリアセンターが主体となり、さまざまな企業の協力のもと、奨学生と企業とのマッチングを行いました。奨学生は夏季休暇中に個別でインターンシップに参加し、日本の企業文化や働き方への理解を深めました。

②企業見学会

日付：令和7年9月24日（水）

ASEAN奨学生2年生を対象に、企業見学会を実施しました。

午前は東急本社を訪問し、堀江正博東急取締役社長、巴政雄亜細亜学園理事長と面会し、留学生代表から奨学金に対する感謝の言葉が伝えられ、懇談が行われました。

午後は、セルリアンタワー能楽堂およびBunkamuraオーチャードホールを見学しました。その後、渋谷ヒカリエへ移動し、東急百貨店の取り組みや渋谷の来街者の特性、渋谷の再開発プロジェクトなどについてレクチャーを受け、館内を見学しました。

奨学生たちは、普段の買い物では気づくことのない建物の構造や売り場づくりの工夫について、非常に強い関心を持って説明に耳を傾けていました。



③第4回ASEAN諸国奨学生交流会

日付：令和7年11月28日（金）

ASEAN諸国留学生奨学金制度に継続的にご寄付をいただいている企業様をはじめ、東急グループ各社様、インターンシップ協力企業様、奨学生採用実績企業様、合計14社39名の方々がご参加くださり、学内関係者と奨学生、卒業奨学生をあわせて総勢138名が一堂に会しました。



3. 奨学生の課外活動参加（一例）

①国際交流パーティー

日付：令和7年6月21日（土）

奨学生を含む本学の留学生が、出身国のブースを設置し、国を代表する料理、楽器、民族衣装などを展示し、伝統楽器の実演も交えながら来場者に自国の文化を紹介しました。



②国際交流キャンプ（山梨県山中湖畔）

日付：令和7年8月4日（月）～5日（火）

今年も山中湖畔で1泊2日のキャンプを実施しました。外国人留学生、日本人学生合わせて48人が参加し、夏休みのスタートに新たな友だちとの交流を楽しみました。



③留学生日本語弁論大会

日付：令和7年12月4日（木）

第46回太田耕造杯留学生弁論大会として実施され、「日本で見つけた小さな幸せ」をテーマに、流暢な日本語での笑いあり感動ありの弁論で会場を沸かせました。



④卒業生理事長との懇談会

日付：令和8年3月15日（日）

令和7年度は、第6期生17人が卒業を迎えました。懇談会では、巴政雄理事長および永綱憲悟学長から、これまでの努力を労うとともに今後の活躍を期待する言葉が贈られました。

また、奨学生たちは流暢な日本語で学生時代に培った知識や経験、それぞれの進路や将来の夢に加え、奨学金出資者ならびに教職員への感謝の気持ちを述べました。





奨学生採用状況等



1. 年度別奨学生採用実績（令和8年4月1日現在）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計
別科	3	9	12	14	休校により合格保留	17	15	15	16	16	13	130
ベトナム	1	7	7	7		9	6	8	9	5	3	62
タイ	2	2	1	4		3	5	2	3	1	4	27
インドネシア	0	0	2	2		2	0	0	2	0	2	10
フィリピン	0	0	1	1		0	1	0	2	5	3	13
マレーシア	0	0	1	0		2	0	1	0	0	0	4
カンボジア	0	0	0	0		1	2	1	0	1	0	5
ミャンマー	0	0	0			0	1	3	0	4	1	9
学部	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	5
ベトナム	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
マレーシア	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
合計	3	9	13	15	1	18	15	16	16	16	13	135

2. 国籍別・学部別在籍奨学生人数表（令和8年4月1日現在）

		経営学部 経営学科				経営学部 データサイエンス学科				国際関係学部 国際関係学科				国際関係学部 多文化コミュニケーション学科				都市創造学部 都市創造学科				社会学部 現代社会学科				留学生 別科	合計
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年		
ベトナム	総数	2	5	7	3					1	3		2	1	1	1	1									3	30
	(女)	(1)	(5)	(5)	(2)					(1)	(2)		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)									(3)	(24)
タイ	総数			1						1			1		2		3			1	1					4	14
	(女)			(1)									(1)		(2)		(2)			(1)						(1)	(8)
インドネシア	総数		1											1												2	4
	(女)														(1)											(1)	(2)
フィリピン	総数	1	1			2				1				1		1						1				3	11
	(女)																									(1)	(1)
マレーシア	総数			1																1							2
	(女)			(1)																							(1)
カンボジア	総数										1	2	1														4
	(女)												(2)	(1)													(3)
ミャンマー	総数			2		2				1			1							1						1	8
	(女)			(1)		(1)				(1)			(1)							(1)						(1)	(6)
合計	総数	3	7	11	3	4				4	3	1	6	2	5	1	5			2	2	1				13	73
	(女)	(1)	(5)	(8)	(2)	(1)				(2)	(2)		(5)	(2)	(4)	(1)	(3)			(2)						(7)	(45)



奨学生卒業後の進路



◆第1期生:令和3(2021)年3月卒業 H29 (2016) 年度学部入学

No.	国籍	性別	進路先	事業内容	卒業学部学科
1	ベトナム	女	ホガス株式会社	映像制作	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
2	タイ	女	株式会社共立メンテナンス	学生寮事業、ホテル事業等 不動産賃貸業(賃貸・管理)	国際関係学部 国際関係学科

◆第2期生:令和4(2022)年3月卒業 H30 (2017) 年度学部入学

No.	国籍	性別	内定先	事業内容	卒業学部学科
1	ベトナム	女	フォスター電機株式会社	メーカー:情報通信機械器具	経営学部 経営学科
2	ベトナム	女	ナナーズ株式会社	流通:飲食品・食品スーパー	経営学部 経営学科
3	ベトナム	女	株式会社トーコン	輸送:倉庫・運輸付帯サービス	経営学部 経営学科
4	ベトナム	女	公益財団法人 国際人材育成機構	商社:機械器具・OA製品	国際関係学部 国際関係学科
5	ベトナム	女	卒業・母国で就職活動		国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
6	ベトナム	女	株式会社ブライセン	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	国際関係学部 国際関係学科
7	ベトナム	女	ニッセイ情報テクノロジー 株式会社	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	経営学部 経営学科
8	ベトナム	女	ニッセイ情報テクノロジー 株式会社	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	国際関係学部 国際関係学科
9	タイ	男	株式会社デジタルハーツ	情報通信: ソフトウェア・情報処理・情報サービス	都市創造学部 都市創造学科

◆第3期生:令和5(2023)年3月卒業 H31 (2018) 年度学部入学

No.	国籍	性別	内定先	事業内容	卒業学部学科
1	ベトナム	女	FPTジャパンホールディングス	情報通信:ソフトウェア・情報処理・情報サービス	経営学部 経営学科
2	ベトナム	女	三谷産業株式会社	商社:総合	経営学部 経営学科
3	ベトナム	女	フォスター電機株式会社	メーカー:情報通信機械器具	経営学部 経営学科
4	ベトナム	女	インバウンドテクノロジー 株式会社	サービス	国際関係学部 国際関係学科
5	ベトナム	男	株式会社東京アクティフ	輸送:陸上	都市創造学部 都市創造学科
6	ベトナム	男	オーストラリアで大学院進学 (ビジネス系)		経営学部 経営学科
7	ベトナム	男	オーストラリアで大学院進学 (デザイン系)		都市創造学部 都市創造学科
8	ベトナム	女	オーストラリアで大学院進学 (ビジネス系)		都市創造学部 都市創造学科
9	マレーシア	男	株式会社ユニヴァ・ジャパン	商社:総合	都市創造学部 都市創造学科
10	フィリピン	女	株式会社ディッジ	サービス	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
11	インドネシア	女	共同組合東京人材開発センター	サービス	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
12	インドネシア	女	卒業・母国で就職活動		都市創造学部 都市創造学科
13	タイ	女	卒業・母国で就職活動		都市創造学部 都市創造学科



奨学生卒業後の進路

◆第4期生:令和6（2024）年3月卒業R1（2019）年度学部入学

	国籍	性別	進路決定状況	事業内容	卒業学部学科
1	ベトナム	女	海外の大学院に進学予定		経営学部 経営学科
2	ベトナム	男	デロイト トーマツ ベトナム	会計監査	経営学部 経営学科
3	ベトナム	男	(株)マッキンゼーヘルスケアワールドワイドジャパン	サービス:広告代理業	国際関係学部 国際関係学科
4	ベトナム	女	有限会社 飯塚舞台事務所	イベント運営	国際関係学部 国際関係学科
5	ベトナム	女	株式会社エル・ティール・エス	サービス:その他	国際関係学部 国際関係学科
6	ベトナム	女	帰国して就職予定		国際関係学部 国際関係学科
7	タイ	女	就職活動中		国際関係学部 国際関係学科
8	ベトナム	女	株式会社共立メンテナンス	不動産賃貸業:賃貸・管理	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
9	フィリピン	女	The Japan Travel Company 株式会社	サービス:その他	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
10	タイ	女	東急ホテルズ&リゾーツ	ホテル・リゾーツ事業	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
11	タイ	女	株式会社ビジョン	サービス:物品レンタル・物品リース	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
12	インドネシア	女	協同組合ベিজア	外国人技能実習生の受入れ事業	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科

◆第5期生:令和7（2025）年3月卒業R2（2020）年度学部入学

	国籍	性別	進路決定状況	事業内容	卒業学部学科
1	マレーシア	女	ザ・キャピトルホテル東急	ホテル・リゾーツ事業	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科



奨学生卒業後の進路



亜細亜大学
ASIA UNIVERSITY

◆第6期生:令和8（2026）年3月卒業R3（2021）年度学部入学

※令和8年3月現在

	国籍	性別	進路決定状況	事業内容	卒業学部学科
1	タイ	女	中国で短期留学後に帰国し就職		経営学部 経営学科
2	インドネシア	男	元気グローバル株式会社	人材紹介・外国人採用支援・グローバル人材サービス	経営学部 経営学科
3	ベトナム	女	FPTジャパンホールディングス株式会社	ITサービス、DX推進、AI・クラウド・システム開発事業	経営学部 経営学科
4	ベトナム	女	株式会社ウィルグループ	人材派遣・業務請負・販売支援・人材サービス	経営学部 経営学科
5	タイ	女	卒業後、母国で就職活動		経営学部 経営学科
6	マレーシア	女	Wismettac フーズ株式会社	食品輸出入、アジア食品の販売、海外向け食品流通	経営学部 経営学科
7	ベトナム	女	株式会社タチエス	自動車用シートの開発・製造・販売	経営学部 経営学科
8	ベトナム	女	住友林業株式会社	住宅建築、木材・建材事業、不動産・海外事業	経営学部 経営学科
9	ベトナム	女	ビーコンコミュニケーションズ株式会社	広告・マーケティング・ブランドコミュニケーション事業	経営学部 経営学科
10	ベトナム	女	RIKAI株式会社	IT開発、システムエンジニアリング、DX支援	国際関係学部 国際関係学科
11	インドネシア	女	日本テーマパーク開発株式会社	テーマパーク・観光施設の運営、地域活性化事業	国際関係学部 国際関係学科
12	ベトナム	女	FPTジャパンホールディングス株式会社	ITサービス、DX推進、AI・クラウド・システム開発事業	国際関係学部 国際関係学科
13	ベトナム	女	株式会社VTIジャパン	ソフトウェア開発、オフショア開発、ITソリューション提供	国際関係学部 国際関係学科
14	マレーシア	男	株式会社アミット	IT・人材サービス、システム開発支援	国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
15	タイ	女	オーストラリアでワーキングホリデー		国際関係学部 多文化コミュニケーション学科
16	カンボジア	男	丸和ホーム株式会社	住宅建築、不動産、リフォーム事業	都市創造学部 都市創造学科
17	ベトナム	女	大日本ダイヤコンサルタント	建設コンサルタント、インフラ設計、土木・都市計画事業	都市創造学部 都市創造学科

卒業生メッセージ（第6期生）



ASEAN諸国奨学金制度をいつも支えてくださっている企業様へ、心より感謝を申し上げます。暑い時も寒い時も、コロナ禍や景気が悪い時も、日々努力し、私たちASEAN諸国の学生のためにいつも支援してくださいました。そのおかげで、日本で留学する夢がかないました。留学している間に、日本人の友達や、私と同じく留学している他の外国籍の友達もたくさんできました。亜細亜大学での日々の勉強もさらに活気にあふれたものになりました。亜細亜大学では経営学科に所属し、ビジネスを運営するノウハウを学びました。そこでまた新たな夢ができ、それは将来自分のレストランを作るという夢です。寿司屋さんでのアルバイトで得た経験も、夢を実現することにさらに近づけてくれました。そして卒業後は、日本はもちろん、海外でも240店舗を運営している会社に入社することができました。これは、ASEAN諸国奨学金がなくては実現できなかったキャリアの道だと思います。正直、感謝の言葉だけでは感謝しきれないと思っています。そのため、日本で留学する機会を与えてくださったことを大切に、日本で培ってきた知識を生かして、母国だけでなく日本の社会にも貢献していきたいと思っています。

アリザル ディン ハニファ（経営学部経営学科卒）
就職先：元気グローバル株式会社
国 籍：インドネシア



このたび卒業を迎えることができ、卒業式では主席総代を務めさせていただくこととなりました。これはひとえに、ASEAN奨学金の温かいご支援のおかげで安心して学業に専念することができた結果であると感じております。別科1年間と大学4年間にわたり大変お世話になりましたこと、心より感謝申し上げます。

日本への留学はコロナ禍の影響もあり、当初は予定通りに進まず、不安を抱えながらのスタートでした。来日当初は言語や文化の違いに戸惑い、自分の考えをうまく伝えられないことなど、多くの悩みがありました。しかし、奨学金のご支援のもと安心して学べる環境をいただいたことで、次第に前向きに挑戦できるようになりました。在学中は学業に加え、ゼミでの地域連携活動や交流会にも積極的に参加し、さまざまな経験を積むことができました。

そうした経験を通して、相手の立場に立って考える力や、異なる背景を持つ人々と協力しながら物事を進める力を身につけることができましたと感じています。また、日本での4年間の生活を通じて、日常生活の中で当たり前機能している衛生面やサービスの工夫などは、日本では意識されにくい一方で、海外から見ると非常に価値の高いものであると気づきました。

卒業後は建設コンサルタント業の企業において管理部門の業務に携わります。プロジェクトを直接動かす立場ではありませんが、これまでに培った多様な人と協働する力や、多角的に物事を捉える視点を生かし、組織や事業を支える立場として円滑な運営に貢献してまいりたいと考えております。そして将来的には、日本で学んだこうした「当たり前を支える仕組み」や価値を世界に広げるとともに、母国ベトナムの発展にも貢献できる人材になることを目指しております。

最後になりますが、これまで温かくご支援くださった皆さまに、改めて深く感謝申し上げますとともに、皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ヴォ ゴック タオミー（都市創造学部都市創造学科卒）
就職先：大日本ダイヤコンサルタント株式会社
国 籍：ベトナム



卒業生メッセージ（第6期生）



私はベトナムのタイビンの小さな村で育ち、いつか世界に出て挑戦したいという夢を抱いていました。しかし、家族は三人の子どもを支えており、両親の負担を考えると留学は決して簡単な選択ではありませんでした。そのため、奨学金を得て自分の力で道を切り開きたいと強く思うようになりました。

しかし、コロナ禍の影響で来日が叶わず、この道が本当に正しいのか不安に感じた時期もありました。それでも諦めず努力を続けた結果、亜細亜大学において多くの学びと貴重な出会いを得ることができました。異なる文化を持つ仲間との交流やゼミでのディスカッションを通じて、国際的な視野と主体的に考える力を身につけることができた実感しております。

また、奨学金のご支援により、経済的な不安を抱えることなく学業に専念できたことに、心より深く感謝申し上げます。皆様のご支援があったからこそ、ここまで歩んでくることができました。

今後は国際ビジネスの分野で経験を積み、日越両国の架け橋となる人材になることを目指しております。「奇跡は自分で生み出すもの」という信念を胸に、これからも挑戦を続け、社会に貢献してまいります。

ヴティ ゴック ジェップ〔経営学部経営学科卒〕
就職先：FPTジャパンホールディングス株式会社
国 籍：ベトナム



4年間はあっという間でした。この4年間でたくさんの思い出ができました。初めて経験することも多くありました。日本で一人暮らしをすること、アルバイトをして自分でお金を稼ぐことなどです。良い友達にも出会い、さまざまな知識を学ぶことができました。

これらの経験は、ASEAN奨学金がなければ実現できなかったものです。高校生の頃、私はずっと考えていました。言語を学ぶなら、実際の現場で学びたい。しかし、海外留学には多くのお金がかかります。そのとき、先生がASEAN奨学金を紹介してくださいました。この奨学金のおかげで、私の人生の進路の扉が開かれました。ここでの経験は、他では得られない貴重なものでした。卒業後は、さまざまなことに挑戦しながら、自分に合った進路を切り拓いていきたいと考えています。また、日本での経験を生かし、日タイの架け橋となれるよう努力してまいります。最後に、ASEAN奨学金のご支援に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

オガタ エリカ〔経営学部経営学科卒〕
就職先：卒業後、母国で就職活動
国 籍：タイ



卒業生メッセージ（第6期生）



亜細亜大学ASEAN奨学金のおかげで、日本で学ぶという夢を実現することができました。心より感謝申し上げます。

経営学部での学びを通して、ビジネスの基礎知識だけでなく、多様な価値観や考え方を持つ人々と協働する大切さを学びました。授業や日常生活の中で、日本人学生や留学生と交流する機会も多く、異なる文化や背景を理解する力を身につけることができました。

また、日本での生活やアルバイトなどを通して、日本社会やビジネス環境についても実践的に学ぶことができました。これらの経験は、私にとって大きな財産となっています。

卒業後は、外資系広告会社でメディアプランナーとして働く予定です。亜細亜大学で学んだ知識と経験を活かし、異なる国や文化をつなぐコミュニケーションに貢献できる人材になることを目標にしています。

このような貴重な機会を与えてくださった奨学金支援企業の皆様、大学の先生方、インターナショナルセンターの皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

グエン カオ フォン タオ〔経営学部経営学科卒〕
就職先：ビーコンコミュニケーションズ株式会社
国 籍：ベトナム



5年間大変お世話になりました。ASEAN奨学金を賜り、日本留学という長年の夢を実現することができました。奨学金のご出資者の皆様、先輩方、そして亜細亜大学の先生方ならびにインターナショナルセンターの皆様の温かいご支援に、感謝しております。

私が奨学金をいただいたのは2019年で、当初は2020年に来日する予定でした。しかし、2019年末に新型コロナウイルスが流行した影響により来日が延期となり、一時は奨学金を辞退することも考えました。当時、私はベトナムの貿易大学の2年生で、あと2年で卒業できる状況でした。しかし、日本語を自然かつ流暢に使いこなせるようになりたいという思いから、日本で学ぶ決意を固めました。ベトナムの大学に通いながら、日本に渡航できる日を信じて準備を続けてまいりました。

別科の期間はオンライン授業となり、ベトナムから毎朝早い時間に授業を受ける日々でしたが、先生方のご指導のもとで学ぶことができたことは大変貴重な経験でした。来日後の大学生活では、多くの留学生や日本人学生との交流を通して、日本語力だけでなく視野も広げることができました。また、資格取得にも挑戦し、独学力や集中力を養うことができたと感じております。

このたび経営学部経営学科の総代として、また学長賞をいただいて卒業できましたことを大変光栄に思います。今後は社会人として、日本で学び得た知識と経験を生かし、日本とベトナムをつなぐ架け橋となれるよう努力してまいります。改めまして、5年間にわたる温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

グエン トゥ フォン〔経営学部経営学科卒〕
就職先：株式会社ウィルグループ
国 籍：ベトナム



卒業生メッセージ（第6期生）



小さい頃、日本文化に憧れてお母さんのように海外に留学する夢を持ちました。しかし、奨学金がなければ親は許可してくれませんでした。日本語の学びを励みながら、亜細亜大学のASEAN奨学金プログラムに出会い、夢を叶うことが出来ました。

この5年間、様々な人と出会ったり新しいことを体験したりしました。日々の学びやアルバイトはもちろん、課外活動にも参加しました。学内サークルである“ガムラン研究会”に入り、初めて出身であるインドネシア・バリ島の伝統楽器や踊りを習いました。合宿を通して自己研鑽に励み、学内外のイベントで披露することが出来ました。日本の良さだけでなく母国の良さも改めて認識し、サークルメンバーそして現地人との交流する機会を作ることが出来ました。

日本で就職することが決まり、世界の人々と関わりインバウンドに貢献できる仕事がしたいと思っています。ここまで成長できたのは、ASEAN奨学金を支給してくださった企業や団体の皆様のお陰です。温かい支援や指導、心から感謝しています。

サルサビラ アマンダ デヴィ〔経営学部経営学科卒〕
就職先：日本テーマパーク開発株式会社
国 籍：インドネシア



私は中学の頃から日本に興味を持って、留学したいと思っていました。高校生になって、マレーシア元留日学生協会（JAGAM）を通じて、ASEAN諸国奨学金に出会い、留学する夢が叶いました。時を飛ばし、この文章を書いている私はもう卒業生になりました。

留学生別科から4年生に至るまでの5年間、私はとても「濃い」時間を過ごしました。コロナ禍で入国できず、オンラインとなった別科の授業、やっと来日でき、日本での生活をたくさん味わえた1年生、新しい趣味と興味のある言語の勉強に熱心となった2年生、留学生会というサークルの会長となった3年生、就活と卒論に力を注いだ4年生、など語りきれないエピソードがありました。これら全ては私にとってとても大切な思い出で、私自身を成長させた経験でした。

私は今後日本で働くことになります。亜細亜大学で勉強したことを活かし、グローバルに活躍できる人材を目指します。以上述べたことはこの奨学金制度、そして私を支えてくださった職員、先生方、家族と友達のおかげです。誠にありがとうございました。

シェン イーハン〔経営学部経営学科卒〕
就職先：株式会社アミット
国 籍：マレーシア



卒業生メッセージ（第6期生）



亜細亜大学での留学生活で最も印象に残っているのは、キャンパスの国際的な環境です。日本人だけでなく、アジアをはじめとするさまざまな国や地域から来た学生が学んでおり、日常の交流を通して多様な価値観や文化に触れることができました。このようなグローバルな環境の中で学べたことは、私にとって非常に貴重な経験でした。

また、奨学金のご支援をいただけたことに、心から感謝しています。留学生にとって学費は最も大きな負担の一つですが、奨学金のおかげで経済的な心配をすることなく、学業に集中することができました。正直に申し上げますと、この奨学金がなければ、日本で学ぶ機会を得ることさえ難しかったと思います。

卒業後は富山県のハウスメーカーに就職する予定です。日本の住宅づくりに関心を持ち、快適な住空間について学んできました。日本で住宅づくりの経験を積み、生かすことで、人々により良い住環境を提供できる人材になりたいと考えています。

そして将来は、母国カンボジアと日本をつなぐ存在になりたいと思っています。大きな架け橋になるというより、その橋を支える「釘」のように、両国を静かに、しかし結びつける役割を確実に果たすことが私の夢です。奨学金で支えてくださった皆様への感謝を胸に、これからも努力を続けてまいります。

スロイ チャイフォー（都市創造学部卒）
就職先：丸和ホーム（ハウスメーカー）
国 籍：カンボジア



私はベトナム出身で、ASEAN奨学金のご支援を受けて亜細亜大学で4年間学ぶことができました。今から12年前、小さなパソコンの画面を通して初めて日本を知り、日本の文化や人々の精神、美しい自然に強く惹かれました。しかし当時の私にとって、日本に留学することはとても遠い夢でした。

その夢を現実にしてくださったのが、このASEAN奨学金です。奨学金のおかげで経済面の不安なく勉学に集中でき、大学では優しい先生方々やインターナショナルセンターの皆様にご温かく支えていただきました。また、国際色豊かな環境の中で多くの日本人の友人と出会い、お互いの文化を学び合う貴重な経験を得ることができました。

卒業後は日系の木材専門商社に就職する予定です。将来は日本とベトナムをつなぐ架け橋となり、両国の発展に貢献できる人材になることが私の夢です。これまで支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

ダン トゥイ ヴィ
就職先：住友林業株式会社
国 籍：ベトナム



卒業生メッセージ（第6期生）



私はASEAN諸国奨学金のおかげで、日本に留学するという夢を叶えることができました。この奨学金のご支援のもと、学業に専念し、無事に卒業を迎えることができました。授業だけでなく、卒業論文の執筆や資格取得の勉強にも積極的に取り組むことができ、非常に充実した大学生活を送ることができました。

大学生活はあっという間でしたが、留学生会や学友会財務局での活動を通じて、授業以外の面でも多くの経験を積むことができました。亜細亜大学ならではの環境の中で、多くの出会いとご縁に恵まれたことは、私にとってかけがえのない財産です。

来日当初は不安もありましたが、インターナショナルセンターの職員の皆様や、同じ奨学金を受ける仲間の支えにより、それらを乗り越えることができました。異文化の中で学び生活する経験を通じて、柔軟な考え方や主体的に行動する力を身につけることができたと感じております。

4月からは社会人として、これまでいただいたご恩を忘れず、自らの成長に努めるとともに、社会に貢献できる人材となれるよう一層精進してまいります。

改めまして、本奨学金のご支援を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。

タン ミン フィ（経営学部経営学科卒）

就職先：Wismettac フーズ株式会社

国 籍：マレーシア



亜細亜大学での学生生活を振り返ると、最も印象に残っているのはインターナショナルセンターの存在です。職員の皆様は常に留学生一人ひとりに寄り添い、どんな小さな相談にも親身になって対応してくださいました。初めての日本での生活に不安を感じていた私にとって、その温かい支援は大きな安心となり、学業に専念できる環境を整えていただいたと強く感じております。

また、ASEAN諸国留学生奨学金のご支援をいただいたことで、経済的な不安が軽減され、勉学に専念できたことに心より感謝しております。このような貴重な機会を与えてくださった出資企業の皆様に、深く御礼申し上げます。

卒業後は、日本にあるベトナム最大手のIT企業において、コンサルタントとして勤務する予定です。大学で培った知識と異文化理解力を活かし、日本とベトナムをつなぐ架け橋となる人材を目指してまいります。将来的には、IT分野を通じて両国の発展に貢献し、社会に価値を提供できる存在になることが私の夢です。

これからも感謝の気持ちを忘れず、努力を重ねてまいります。ご支援いただいた皆様に良いご報告ができるよう、今後も精進してまいります。

チャン アイン スアン ニー（経営学部経営学科卒）

就職先：FPTジャパンホールディングス株式会社

国 籍：ベトナム



卒業生メッセージ（第6期生）



このたびはASEAN奨学金を賜り、誠にありがとうございました。奨学金をいただいたことは、私の人生において大きな転機となりました。このような貴重な機会を通じて、これまで触れることのなかった多様な価値観や新しい視点を学ぶことができ、自分自身の成長を強く実感しております。日々の学びや経験の一つひとつが、今後の人生において大切な財産になると感じております。ご支援くださった皆様には、心より深く感謝申し上げます。

これからは、この経験を活かしながら自分らしい進路を自国において切り拓いていきたいと考えております。ASEAN奨学金のおかげで、日本の大学で卒業することができ、日本語はもちろんまたは英語タイ語を利用して、タイでグローバルな企業に就職したいと考えております。

心から本当に感謝しております。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

バイブア ナッター〔経営学部経営学科卒〕
就職先：オーストラリアでワーキングホリデイ
国 籍：タイ



この奨学金をいただいたことで、私には多くの新しい機会が開かれました。これまで経験したことのない様々なことに挑戦し、素晴らしい人々との出会いや、かけがえのない友情を築くことができました。また、美しい場所を訪れたり、自分の存在価値を実感できる仕事に出会えたことも、大きな財産です。これらの経験は、私にとって非常に貴重なものとなりました。

このような機会を与えてくださったことに、心より感謝申し上げます。将来は、人の役に立つことができる仕事に携わりながら、日本とタイをつなぐ架け橋のような存在になりたいと考えています。

また、大学の職員の皆様や友人たちにも心から感謝しています。日本での生活に慣れることは決して簡単ではありませんでしたが、皆さんの支えがあったからこそ、4年間を乗り越えることができました。

プルアングラーンスチャンヤー〔経営学部経営学科卒〕
就職先：中国で短期留学後に帰国し就職
国 籍：タイ



亜細亜大学での5年間は、私にとって「チャレンジはチャンス」という価値観を自分の中に定着させた時間でした。その原点は一年生の基礎ゼミにあります。日本語で資格取得に挑戦した経験から、努力が成果に結びつく手応えを得て、挑戦すること自体に意味を見出せるようになりました。

しかし同時に、資格という目に見える結果によってしか自信を測れていなかった自分にも気づきました。この気づきが、「他人の評価ではなく、自分の意思で選び取る挑戦」へと意識を転換させる契機となりました。

そうした挑戦を継続できた背景には、奨学金の存在があります。経済的な安心があったからこそ、学びと内省の両方に向き合うことができました。

卒業後は人事職として、この経験を他者にも還元したいと考えています。個人の挑戦や成長に寄り添い、その可能性を引き出すことで、組織と人の双方に価値を生み出せる存在になることが目標です。

ラムゴック ホアン フエン〔経営学部経営学科卒〕
就職先：株式会社タチエス
国 籍：ベトナム



卒業生メッセージ（第6期生）



子どもの頃から日本の本を読むことが好きで、物語の中に描かれる文化や生活に自然と惹かれるようになりました。いつしか「日本で学んでみたい」という思いが芽生え、その夢を叶える場所となったのが亜細亜大学でした。

亜細亜大学での4年間は、多くの出会いと学びに満ちたかけがえのない時間です。特に、ASEAN諸国向けの奨学金制度に支えられたことは、私にとって大きな意味を持っています。経済的な不安を抱えることなく、学業に集中しながら日本での生活やさまざまな経験に挑戦できたことに、心から感謝しています。授業での学びはもちろん、友人や先生方との交流、アルバイトや日常生活を通して、日本社会や文化をより深く理解することができました。

卒業後は日本で働き、大学で学んだ知識や経験を社会の中で活かしていきたいと考えています。そして将来は、日本とベトナム、さらには国と国、人と人をつなぐ架け橋のような存在になることが私の夢です。亜細亜大学で過ごした日々は、これからの人生を歩んでいくうえで、かけがえのない大きな財産になると感じています。

ホアン ヴ カイン チャン
就職先：RIKAI株式会社
国 籍：ベトナム



亜細亜大学での留学生活は、私にとってかけがえのない経験となりました。来日当初は言語や文化の違いに戸惑うことも多く、不安を感じる日々もありましたが、先生方の丁寧な指導や友人たちの支えにより、次第に環境に慣れ、安心して学業に取り組むことができました。特に、授業でのディスカッションやグループワークを通して、多様な価値観や考え方に触れ、自分自身の視野を大きく広げることができたと感じています。

また、ASEAN奨学金のご支援のおかげで、経済的な心配を抱えることなく、勉学や自己成長に集中することができました。このような貴重な機会を与えていただいたことに、心より感謝申し上げます。奨学金は単なる経済的支援にとどまらず、私にとって挑戦する勇気と将来への希望を与えてくれる大きな存在でした。

卒業後は、日本で培った専門知識や経験を活かし、IT分野において社会に貢献できる人材になることを目指しています。将来的には、日本と母国をつなぐ架け橋として、両国の発展に寄与したいと考えています。今後も感謝の気持ちを忘れず、さらなる成長に努めてまいります。

レー ティン トゥ（経営学部経営学科卒）
就職先：株式会社VTIジャパン
国 籍：ベトナム



